

8月 定例教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|---|----------------------------|
| 1 | 日 時 | 平成 29 年 8 月 24 日（木） | 午後 5 時 30 分から午後 7 時 20 分まで |
| 2 | 会 場 | 磐田市役所 西庁舎 3 階 | 特別会議室 |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長
青島美子委員 杉本憲司委員 秋元富敏委員 鈴木好美委員 | |
| 4 | 出席職員 | 教育部長 教育総務課長補佐 学校給食課長 学校教育課長
中央図書館長 文化財課長 地域づくり応援課長 幼稚園保育園課長
スポーツ振興課長 文化振興課長 福祉課主任 学府一体校推進室長 | |
| 5 | 傍聴人 | 0 人 | |

(進行委員：秋元富敏委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

皆さん、こんにちは。厳しい暑さとなりましたが、本日は御出席いただきましてありがとうございます。8月の末でお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

夏、第一に子ども達の活躍がすばらしかったと思います。8月2日に行われた東海大会・全国大会出場者激励会では、これまでに無い人数であり、平成28年度は28名でしたが、今年度は56名ということであります。

先日、全日本中学校陸上競技選手権大会では、竜洋中学校太田君が（走り高跳び）1メートル96センチで全国優勝をいたしました。磐田第一中学校の平野君、100メートルで3位、200メートルで4位です。神明中学校は400メートルリレーで田中君を中心に静岡県で優勝しましたが、全国大会では準決勝で敗退することとなりました。

城山中学校の合唱につきましては、NHK静岡県コンクールで見事最高賞の金賞を受賞して東海大会出場となりました。

それから科学の甲子園ジュニア大会ですが、神明中学校の2年生3人が全国大会へ出場を決めました。公立学校では初めての快挙です。静岡県で出場は2校だけです。すばらしいことです。他の生徒も児童も、すばらしい体験をすることができたのではないかなと思います。子ども達の夏休みの体験は日常性に埋没することなく、改めて自分自身を発見できるよい時間となったのではないかと思います。

ちなみに消防の水難救助ですが、全国大会で見事第1位と優勝したと聞いております。

それから33名の子ども達を連れて広島平和記念式典へ参加してきました。気温は37度。その中、安田女子高等学校、それから平和記念公園資料館、それから今年度は語り部の方から原爆の様子のお話を聞くことができました。大変貴重な体験をすることができました。子ども達は酷暑の中、一生懸命メモを取って色々なことを感じ取ったようです。その中で彼らが言った印象的な言葉は、「当たり前前の方が当たり前でないことを知った」です。今、平和な時代で当たり前前色々なことがありますけれども、それが当たり前じゃない、これは安田女子高等学校の生徒さんが子ども達にそういうふうには実は語りかけたのです。あの暑い中、37度ありましたが、もう微動だにせず原爆桜を囲みながら、そういう話を女子高校生がきちっとしてくれたのです。

それから12名の子どもを連れてベトナム中学生海外派遣へ行ってきました。ベトナム訪問

については初めてであり、中学生の子ども達の中には飛行機に乗るのも初めてという子もいました。大変貴重な体験をすることができました。時間の関係で1つだけお話ししますが、ツーズー病院、平和村についてです。ツーズー病院というのはベトちゃん、ドクちゃんが枯れ葉剤の影響を受けて治療をした病院です。ドクちゃんはまだ、そちらで勤務して働いているということです。ベトナム戦争は1975年だったと思いますけれども、その時枯れ葉剤は8,000万リットルをベトナムに4回に分けてまいたということです。ベトナム戦争は1975年に終わりましたが、今もなお枯れ葉剤の影響が残っている所があるそうです。その残っている所はまだ28カ所あると聞いております。枯れ葉剤の影響そのものは、もう体の中に組み込まれます。ベトちゃん・ドクちゃんのことでも御存じだと思いますけれども、枯れ葉剤の影響を受けた子ども達が、15カ月から大体34歳まで65人がツーズー病院に入院しています。子ども達を中心に触れ合うことができたのですが、その65人の半数は家族がいません。全く家族が無いのです。何で家族がそれだけいないのかという話ですが、後から戦争記念館で資料を見たのですが、捨てられるのです。障害等があってこの子の面倒は見られないと、捨てられた子が実際にそちらのツーズー病院へ保護されることもあるそうです。もうほとんど動けない子どもが多いですけども、頭だけ大きくなって動けない状態になっている子もいます。そういう子どもが多いのですが、その中で元気に前向きに話しかけてくれる子、一緒に話ができる子、そういう子もいました。指が2本、30年間そこにいると思うのですけれども、その子は本当に積極的で、握手を一杯してきました。

それからあともう一つ、死生観がやっぱりベトナムの方々和我们と違うなと思いました。枯れ葉剤の影響を受けた子どもをホルマリンに入れてあり、30体以上が一部屋の中に置かれています。それを子どもたちも見ました。かなりショックを受けた子もいましたけれども、ある面では子ども達は現実として捉えられない、つまりそれが生命体であるというか、作り物のように見ている面もあるのではないかと思います。それよりも市の職員や年のいった人の方が大きな衝撃を受けていたかもしれません。どちらにしても人間の残酷さ、また醜さ、負の面を真っ向から見た思いでした。死生観とか死後生という言葉があります。日野原先生が亡くなられたことで一つ話題にのぼった死後生、つまり死を生きる、死が終わってからもまだ生きるという意味合いを持っています。僕も詳しくは分かりませんが、生命に対する感覚はやはり違うのかなと思います。

広島、長崎、ベトナムであった事実を私たちは忘れることはできませんが、しかしその事実打ち負けることなく次のステージ、未来に向かって進んでいくことが大切であると思います。日本らしく当たり前のことを当たり前とせず、今を生きる自分たちの責任で未来をつくっていきたい、そう思うところであります。

本日は忙しい中ですが、教育委員の皆様方についてはコミュニティ・スクールフォーラムに引き続きありがとうございます。よろしくお願いいたします。以上です。

3 前回議事録の承認

7月27日定例教育委員会

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

9月市議会定例会について報告させていただきます。9月市議会は、通称決算議会と言われているわけですが、PDCAでいえばチェックの部分で、28年度に行われた行政の事務事業について

て予算が目的どおり使われて、その成果が上がっているかどうか審議される場となります。

日程につきましては今のところ、9月8日金曜日から10月11日水曜日までの34日間で予定されています。先ほどお話のとおり28年度の決算、それから補正予算などの議案審議があります。

教育委員会関係につきましても、決算と補正予算について上程していく予定です。その内容につきましては本日の議事で説明させていただきますので、御審議のほどよろしくお願ひいたします。

<質疑・意見>

なし

5 議事

(1) 議案第49号 平成28年度磐田市一般会計歳入歳出決算（教育費関係）の認定について

今回の決算につきましては、例年と同じく具体的な事務事業の実施内容が記載されております市政報告書の教育委員会関係部分を抜粋した資料を基に各課から説明させていただきます。

今回の決算の説明は昨年度委員の皆様から御指示がありまして、例年どおりの事務対応のものにつきましては説明を省略させていただきます。事業の成果や課題及び新規の取り組みにつきまして説明をさせていただきます。内容については各課、2、3分程度で説明を進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

順番につきましてはお手元の報告書の順番になりますが、地域づくり応援課、スポーツ振興課、文化振興課、福祉課、幼稚園保育園課の順に行いまして、それに続きまして教育委員会事務局から説明いたします。質疑につきましては、最後に一括してお願いしたいと思います。

○地域づくり応援課

28年度決算につきましては市民活動推進課の事務事業としての説明となります。

まず生涯学習推進事業における新規事業は特段ございませんけれども、前回ちょっと御説明させていただいたとおり、28年度を1つの大きな区切りの年としまして、幾つかの業務見直しを行いましたので、成果と併せて御説明させていただきたいと思ひます。

まず社会教育委員会運営事務につきましては、委員任期2年の成果といたしまして、コミュニティ・スクールと地域づくり、人づくりをテーマに平成27、28年度提言書を作成し、教育委員会への報告を行いました。

生涯学習推進事業では、主に高齢者を対象に実施してきました生涯学習講座を大幅に見直し、自主自立を促すために交流センター講座や趣味サークルへの発展的な移行を行いました。また生涯学習出前講座を原則廃止といたしまして、通年需要の高い内容にジャンルを整理しメニュー化することで、必要性を重視した交流センター講座としての充実を図りました。

次に青少年健全育成事業につきましては、28年度末をもって青少年健全育成会連合会を解散いたしました。29年度は地域の実情に合わせたこれからの健全育成活動を推進するため、地域づくり協議会への委託事業として事業の検証を行いました。平成30年度からの一括交付金制度を視野に、地域の取り組むべき本来の青少年育成活動を推進するため、活動の体制や内容の見直しを行ってまいりました。いずれにいたしましても、これまでの組織体制や補助金の流れを大きく見直す年に当たり、今後の地域づくり協議会と交流センター運営をさらに充実させて、地域への一括交付金が早期に定着するよう市内の支援体制の充実と職員の意識改革を図ってまいります。これは磐田市にとりましても過去に例のない大改革だと認識しております。今後も引き続き地域活動の検証を重ね、

地域の皆様への支援を一層充実させ、地域力の維持向上に向けた取り組みを全力でしていくことが最大の課題であり、今後の目標だと考えております。

○スポーツ振興課

新規事業2件について説明します。

1つ目ですが、卓球場・アーチェリー場施設整備事業で本年度、建築請負契約の締結を承認していただきましたけれども、現在来年2月の完成を目指して工事を進めているところでございます。平成28年度には予定地の地質調査と、建設に向けて実施設計業務の委託を行いました。市民の皆様が多く利用していただき、また県内外からの交流人口を生む施設として整備してまいります。

2つ目は地域スポーツクラブ事業についてです。市内に通学する中学生において、希望する部活が無い、専門的な指導者の不足など、中学生のスポーツ機会の充実と、教員の負担軽減を図るため「磐田スポーツ部活」を開始しました。種目については陸上とラグビーの2種目でございます。その他専門的な指導を行うために卓球と陸上のスポーツ塾、また新たなスポーツの体験をしてもらうためトランポリン等の体験教室を開催いたしました。

次に成果と今後の課題についてですが、成果としましては、かぶと塚公園のテニスコート跡地を有効活用しまして、卓球場、アーチェリー場の建設に向けた実施設計を実施、次にリオ五輪関連イベントによるスポーツイベントへの機運醸成と市民のスポーツへの関心の高揚、中でも水谷、伊藤両選手のメダル獲得でのパレードには、3万人もの市内外の方がお集まりいただきまして、多くの感動を生みました。

また、県からの委託によりまして県内に先駆け、磐田スポーツ部活の取り組みを始められたこととでございます。

課題としましては、平成30年度からの供用を目指しております卓球場・アーチェリー場につきまして効率的な運用を目指し、今年度に条件設定等を含め検証する必要があるとございまして、今取り組んでいるところです。また磐田スポーツ部活については部活の種目を拡大するために中体連種目と磐田らしいスポーツ、中学生のニーズを踏まえて種目の決定を行ってまいりたいと考えております。

○文化振興課

特に新規事業等はありませんが、追加の年間事業を紹介させていただきます。文化芸術振興事業です。これは年間を通して文化振興会という組織に補助金を交付して、さまざまな市の事業等を行っていただいているものです。年間を通じて色々なジャンルの鑑賞とか体験事業とかを実施しておりまして、市民文化の向上や振興に寄与することができました。特にオーケストラ事業として実施しました東京フィルハーモニー交響楽団の演奏会、これに市内の中・高生を対象として招待させていただきまして、日ごろ見たり聞いたりすることができない体験をしていただけたのかなと思っています。

次に文化芸術活動支援事業ですが、これは文化協会への補助金を交付しているものと、磐田市芸術祭を文化協会に委託しまして運営していただいている事業です。例年とほぼ金額は変わりません。

次に青少年文化芸術活動育成支援事業ということで、高校生の演劇の指導者を派遣したり、中学生の吹奏楽のレベルアップを図るため公開クリニックを行ったり、器楽指導者の派遣事業をしております。それに加えて磐田こどもミュージカル育成事業ということで補助金を交付しております。こどもミュージカルですが、2年に一度修了公演を行っております。お時間のある方はぜひ、修了公演もご覧になっていただきたいと思います。

次に展示体験施設費ですが、これは香りの博物館の施設管理事業ということで行っています。昨年も入場者数がだんだん増えておりまして、特に企画展等を実施する中で、色々な工夫をしながら人を呼び込むということで計画しております。

○福祉課

社会福祉事業のうち、人権啓発推進等事業につきましては、新規事業はありませんでした。ふれあい交流センターを中心に人権教育・人権同和事業を実施するとともに、人権教育講演会や人権擁護委員による人権教室などを実施しました。

成果ですが、子どもから大人まで幅広く人権教育・人権同和事業を展開できたことと、人権教室につきましては小中学校以外にも自治体や幼稚園、交流センターで開催されまして、新しい展開がなされています。今後もこれらの啓発につきましては継続してまいります。

また課題につきましてもありますが、国が力を注いでいる人権の分野としましては、東京オリンピック・パラリンピックがありますが、外国人や障害者との共生、また性的多様性の理解などが挙げられています。こうした新しい分野の人権擁護につきましては、また情報が少ない部分もあるのですが、こういった情報収集や研究を進めながら、啓発の方法等も考えていく必要があると考えています。

○幼稚園保育園課

新規事業を含む主な取り組みによる成果として説明させていただきたいと思います。

最初に、幼稚園・保育園再編計画の第2期計画の策定です。平成28年度末で計画期間が終了しました第1期計画を引き継ぎ、多様な教育・保育ニーズに応え、充実した環境を将来に渡り持続していくため、平成29年度から33年度までの5カ年の指針として第2期計画を策定しました。

2点目としましては、磐田北幼稚園の再築事業です。28年度におきましては、磐田北幼稚園舎と磐田北小学校のプール再築に係る実施設計業務を実施し、建築工事にも着手いたしました。現在、工事は来年度からの新園舎供用開始を目指し進捗しているところです。

3点目としましては、公立幼稚園園庭芝生化事業です。これは新規事業として平成28年度に実施したものです。こちらは子どもの教育・保育環境の充実を図るため園庭の一部を芝生化したもので、28年度については豊岡南幼稚園で実施いたしました。なお、こども園、保育園においても同様の目的を持って各事業を実施いたしました。

全体の課題としましては、幼稚園・保育園再編計画に基づき老朽化する施設へ対応し、よりよい幼児教育、保育環境の充実を図ること、また、職員個々の資質向上を組織全体のレベルアップにつなげること、この2点と捉えておるところです。

○教育総務課

それでは教育委員会事務局分の関係となります。最初に教育総務課所管の事務事業について説明します。教育委員会運営と事務局事業の成果と今後の課題についてです。

成果につきましては、委員会本来の機能としまして定例会における議案の審議や補助執行を含めた各課からの報告を行った他、総合教育会議における市長との積極的な意見交換を行いました。また、一貫教育、コミュニティ・スクール等の教育課題に関する研修として視察を行いました。

課題につきましては、こうした教育委員活動に係わる情報発信、重点教育施策の一般教員への広報のあり方の検討。補助執行機関等とのさらなる連携の推進の3点としております。

次に施設関係事業、新たな学校づくりに係わる事業についてでございます。成果は、施設関係では児童・生徒の安全確保のために外壁の改修、教室内の照明落下防止対策を内容とします防災機能強化事業を実施の他、磐田北小学校のプール再築工事を老朽化対策として挙げております。

新たな学校づくりでは、新時代の新たな学校づくり研究会報告を受けた方針策定と、ながふじ学府一体校等整備構想の策定及び、学府バスの運行を挙げております。課題については学校施設の適正な維持管理の他、一体校の設計に関しまして地域、保護者、教員といった関係者の意見を集約して、学府バスを利用した交流のさらなる活性化といたしております。

次に就学援助制度、特別支援学級児童生徒への就学奨励制度になります。成果は、準要保護児童生徒の就学援助認定基準につきまして、生活保護基準の見直しの影響によりまして、援助を受けられなくなるようなことが無いように認定基準の見直しを行ったことを挙げております。課題については制度の周知を徹底し、経済的理由により就学が困難な家庭の児童生徒について、経済的負担軽減が適切に図られますよう、入学時だけでなく転入者など生活状況に変化のあった児童生徒の保護者に対しまして、年間を通じ制度周知に努めることといたしております。

次に青少年育成事業に関するものでございます。成果は児童クラブにつきまして、クラブの増設などによりまして年間を通じ待機児童ゼロを実現したことの他、平成 29 年度の利用募集に当たりまして、同居祖父母の年齢要件を 75 歳未満から 70 歳未満に引き下げ、入所基準の緩和を行いました。

課題は児童クラブ利用者の増加傾向を踏まえ、将来予想とそれへの対応といたしております。

○学校給食課

新規事業ではないですが、高価な機器の更新ということで豊田学校給食センターにラウンドペヤを設置しました。これは立体式消毒保管機です。平成 10 年に豊田センターが設置されて以後 17 年故障が多くなってきており更新したものです。

次に成果と課題の主な項目について説明いたします。安全・安心な食材の確保に関しましては、衛生管理に努めて食中毒など問題は生じておりません。魅力ある給食の提供につきましては、季節に合った献立とか味つけに配慮し、全体の平均残菜率は 1.8%という結果が出ております。食育の推進につきましては、エビイモなどを使った地場産品、あとは6月の歯と口の健康週間に合わせて大豆とか煮干しを使っております。食材との関連ということで小学校2年生の生活、小学校6年生の理科で野菜とか植物、これに関連したジャガイモなどを使っております。食物アレルギーにつきましては、平成 28 年 9 月から豊田と豊岡の学校給食センターで鶏卵の汁物及び煮物の除去を開始しております。

課題の中の、計画的な施設の修繕更新につきましては、施設が老朽化しておりますことから、毎年夏休み期間に現地確認を行いまして、緊急性・優先度の高いものから次年度以降予算に反映させております。

最後に自然災害等の影響につきましてですが、台風被害などで市内の、全国的な野菜が高騰などしておりますけれども、献立を変更しない中で価格の安定している野菜を多く使用するなど調整を行っております。

○学校教育課

特に新規事業はございませんので、各事業の成果と課題を中心に御説明させていただきます。

個に対応する教育についてです。7小学校7人の市費負担教員を配置し、個に応じた教育を推進

しました。今後も質の高い教員確保に努めていきたいと考えています。

続けて特色ある学校づくりについてですが、各学府に1人ずつ学校司書を配置することで、学校図書館の整備が進み、利用する児童生徒が増加いたしました。

小中一貫教育についてですが、全ての学府で本格実施となりました。小中一貫教育推進のために10人の市費負担教員を配置しました。学府ならではの主体的な取り組みがそれぞれ行われました。

地域に開かれ信頼される学校づくりについてですが、全小中学校をコミュニティ・スクールに指定しました。コミュニティ・スクールフォーラムの開催により、コミュニティ・スクールについての、理解を深めることができました。今後、学府のコミュニティ・スクールディレクターや学校のコーディネーターを活用し、さらに地域の教育力を生かした教育を推進していきたいと思えます。

情報化に対応した教育ですが、電子黒板やタブレットPCの活用について研修を行うことができました。課題としてICT機器の計画的な導入が挙げられています。今年度、対応しているところでは。

国際化に対応した教育についてですが、主に外国語指導助手（ALT）の配置と外国人児童生徒への支援を推進しました。磐田市版英語教育モデルカリキュラムを中心にALTと教師の協働による事業を行うことができ、児童の英語への興味、関心が高まっています。外国人児童生徒の編入者が増加傾向にあるとともに、小学校高学年以上で編入する児童生徒への指導のあり方が課題となっています。

教育課題等への対応です。年々増加傾向にある特別に支援を要する児童・生徒のため87人の補助員及び介助員を配置するとともに、教員の個に応じた指導力向上のために研修会を実施しました。また、いじめや不登校に対する支援、指導のために心の教室相談員、スクールソーシャルワーカーの配置を初め、ネットパトロール、不登校対策調査研究等を実施しました。不登校を初め個別に支援を要する子どもは養育や対人関係等、さまざまな問題が多様化、複雑化しているのが現状です。

○中央図書館

新規事業について報告させていただきます。初めに施設管理事業の図書館システムの更新でありますが、公募型プロポーザル方式によりましてシステム業者を選定しました。新たな機能として利用者個人が利用記録に同意すると、自身が借りた本や読みたい本を記録することができるマイ本棚機能などを追加し、また県内で初めてとなる電子図書館を併せて導入し、ホームページもリニューアルいたしました。

次に（仮称）子ども図書館設置事業では、こども部と協力連携して基本構想を策定いたしました。公募型プロポーザル方式により業者選定をして、市民懇話会等の意見を踏まえ、子育て相談機能を兼ね備えた、（仮称）子ども図書館の基本構想を策定して図書館のホームページにおいて公開いたしました。今後この基本構想に基づいて設計、そして改修工事と進めます。課題としては、これまでにない市の施設としてより多くの市民の皆さんに利用していただけるよう運用について今後検討していく必要があります。

次にこども読書活動推進事業のこども読書活動推進計画ですが、関連部署と連携して第3次磐田市こども読書活動推進計画を策定し、ホームページによって公開いたしました。5年間の計画ですが毎年、進捗管理を行って地道な推進に努めていきたいと考えております。

次に図書館資料整備事業の中の電子書籍サービスですが、先ほども申し上げましたとおり図書館システムの更新に伴って、地域資料を中心に電子書籍サービスを開始しました。地域資料の電子化は平成26年度から実施してまいりましたが、電子化した資料の中から選別して紹介文をつけて順

次公開をしております。実績といたしましては地域資料の閲覧数が多く、資料の紹介文などによりまして地域資料に関心を持っていただけたと思われまます。今後も地域資料の電子化を継続し、資料の保存、公開を図っていきたく思います。また、所蔵コンテンツにつきましても市民の皆さんが興味を持って見ていただける資料について検討して加えていきたくと考えております。

最後に6 図書館視覚障害者サービス事業のユニバーサルデザイン絵本作成講座ですが、静岡文化芸術大学の協力を得て、障害のある方にも楽しまれる、触って楽しむ本の作成講座を初めて実施いたしました。公共図書館として全ての市民の読書機会の提供について真剣に考えて今後も着実な事業実施に努めたいと思っております。

○文化財課

文化財の保存整備と普及啓発ですが、旧見付学校消防設備改修事業では老朽化した放水銃を取り替えるなどの改修を行い、防火機能の充実を図ることができました。

また同じ低地にある遠江国分寺跡整備事業では、整備基本計画を策定し今後も本格的な整備に取り組んでいきます。

成果と課題の内、課題についてです。来年度は明治 150 年となります。旧見付学校においては平成 33 年に国史跡指定 50 周年、平成 37 年に開校 150 周年となるなど節目の年を迎えることから、今後に向けてその活用方法や周知方法などを検討する必要があるものと考えています。

次に歴史文書館についてです。歴史文書館では展示会等を通じて歴史文書館の業績の成果を市民の皆さんに報告しているところですが、まだまだ歴史文書館自体の認知度が低いことから、より積極的な周知活動を行いたいと考えております。

次に埋蔵文化財調査についてです。市単独による事業のうち遠州豊田PA南地区発掘調査は企業誘致に伴うもので、古墳時代後期の古墳3基などを検出いたしました。また、長江崎遺跡発掘調査は新駅設置に伴う道路拡幅工事に係るものです。

課題についてですが、今後も幼保再編計画に伴う園舎の建設などの公共工事をはじめ大規模開発に伴う調査については、必要に応じ関係機関などと綿密な協議を行い事業執行に取り組んでいきたいと考えております。

次に施設の管理運営についてです。民具についてですが、鎌田にある旧学校給食センターの取り壊しに伴い当分の間、旧福田保育園に移設することになったことから、昨年度は移動の準備として台帳整備などに取り組んできました。現在移動はほぼ完了し、種類別に収蔵するなど整備が進んだところですが、今後は収蔵施設や展示室のあり方について検討するとともに、より積極的な活用方法についても考えていきたく思います。

<質疑・意見>

○地域づくり応援課から参りたいと思っております。よろしいですか。

○今回見直しによって地域づくり事業が支部単位へと移っている中で、本部事業はかなり減ってきているのですか。本部としての事業が各支部に移っていくという考え方でよろしいでしょうか。

○支部といたしますと。

○青少年とか、地域づくり協議会みたいなところで、かなり予算的にもそちらで執行していくということですか。

○健全育成に関しては分かりにくい部分があるかと思っております。今回教育総務課に児童青少年政策室ができて、そちらで方針的なものを決める。実際の実働の部分については予算を持って我々

で、従来の健全育成に係る交付金のような形を地域にやって出ていく、ということで別れたような形の予算配分になっております。ですので、特に縮小とか本部が減ったとかいうことではなくて、庁内では分散したような形になりますが、市民活動推進課で持っていた時には、それぞれの活動主体に直接下ろしていたものを、我々事務局で、地区単位でまとめて一括交付で入れていくというような、ちょっと流れを変えたということですので、決して縮小した訳ではないです。

○具体的には、本部の健全育成に係わって本部の実務については無くなって来たけれども、地域づくり協議会へ出て行って、そこでのサポート活動とかが必要になってくる。つまり、具体的に市が中心になってこうやってやりますよという旗振りはしない。そのかわり支援に回る。だから絶対量としては少なくなる。だけど絶対量の、今までの事務的仕事は少なくなっているけど、支援活動は増加している。

○育成会連合会の、事務局的なものが無くなった変わりにということですか。

○次へ行きたいと思います。スポーツ振興課についていかがですか。

1つだけ、地域スポーツクラブ事業で、磐田スポーツ部活で、このスポーツ部活に入っている子が今年全国大会に1人出場していますのでトータルの陸上強化も含めて、トータルのスポーツ部活のサポート、大変よくやっていただいたなと思います。全国大会ですから。準決まで行きましたから。

それからあと、蛇足になりますけれども、キャンプ地の話とかそういうのが出ておる。何か去年からこちらにかけて、何か話題として出ているところはあるですか。

○キャンプの誘致については、卓球についてオーストラリアと協議を行ってございましたけれども、兵庫県の西脇市さんの方ということで、オーストラリアがそちらを選ばれたので、今のところ決まっているものは残念ながらございません。体操ですとか、サッカーを含めて、オリンピックが近くなると、当市を希望する国が出てくると思っています。県が予算を取っていて、現地コーディネーターというものがあまして、引き続き卓球なども当たってくれてはいますけれども、今のところ決まっているものはございません。

○県がコーディネートがある程度してくれるのですか。

○今年度は県が予算付けて、静岡県が委託した駐在員がオーストラリアとヨーロッパにおりまして、そこで各国と交渉していて、磐田市でどうですかとかお話ししているのですが、なかなか条件が合致しないケースがありまして、調整中というところで、現時点ではご報告できるところが無い状況です。

○はい。じゃあよろしいですか。それでは文化振興課、お願いします。

○文化振興課 なし

○福祉課、お願いします。

○成果と課題は、他の課はまとめられているのですが、先ほどおっしゃった最後の言葉を、課題に入れておかれたらどうですか。

○福祉課の市政報告書中で、人権関係に関する成果と課題の記述は無かったものですから、あえて口頭での報告とさせていただきますので、検討させていただきます。

○それでは幼稚園保育園課、お願いします。

○幼稚園保育園課 なし

○よろしいですか。再編計画、大変ですね。それでは教育総務課、いかがですか。

○教育総務課 なし

○学校給食課、お願いします。

- 学校給食課 なし
- 学校教育課、お願いします。
- 学校教育課 なし
- 中央図書館、お願いします。
- 図書館システムの更新を少し、マイ本棚と言うことと、県内で初めてとなる電子図書館について、もう1度御説明いただいていたいいですか。
- まずマイ本棚機能ですが、利用者個人が、ウェブ上に利用者記録がありまして、そこに履歴を残す同意をすると、その個人が今まで読んだ本、あるいはこれから読みたい本の記録ができるという機能でございます。
- 自分のサーバーを持つみたいな感じになるのですね。自分の本棚をウェブ上で。どれ位選んだ、今年ちょっと本の読み方が足らんなあとか、そういう傾向をデータ上に残せるのですね。
- 履歴を今までは残さないというのが機能ですけれども、個人の申請によってできるようになります。
- 自宅から磐田市の中央図書館に入っていって、自分のパスワードか何か入れて、開くと自分の履歴が分かる訳ですね。
- これからですね。今までの分は分からないですか。
- 10月以降借りたものです。
- 履歴だけですか。先ほどこれから読みたい本も分かると言っておられませんでしたか。
- 読みたい本もここで選択して、自分の本棚へ入れていくことができます。
- 自分で入れる訳ですね。楽みたい傾向から自動的に出てくる訳じゃないのですね。履歴からお勧めとか。
- 今まで自分がこういう本を読んできたという履歴を見ながら、今度この、こういった本を読みたいなというのを本棚に入れることができます。
- そうすると図書館に行くと、私はこういう本を借りたい。この本、あそこに入っているのですかと聞いたらすぐに出してくれるのですか。
- 御自身で予約をかけることも、もちろんできます。検索ができますので、ウェブ上で予約も自分でできます。
- 電子図書館については、県内では磐田市が初めて導入しました。TRC（図書館流通センター）の電子図書館ライブラリーというシステムと、磐田市の図書館システムと連携させています。クラウド型の電子図書館サービスですので、TRCが持っているところへ見に行くという、そういう形になっています。
- では文化財課、いかがでしょうか。
- 文化財課 なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第49号は原案どおり承認された。

(2) 議案第50号 平成29年度磐田市一般会計補正予算（教育費関係）の要求について

それでは、教育費にかかわります9月補正予算の要求内容につきまして御説明させていただきます。所管課ごとに歳入、歳出の順で説明いたします。なお質問に関しましては、先ほど同様、全課

の説明後に一括でお願いしたいと思います。それでは、初めに学校教育課からお願いいたします。

○学校教育課

歳入です。15款2項1目、教育費県補助金静岡茶愛飲推進事業補助金です。補正額350万7,000円の歳入です。この補助金は、平成28年12月27日に交付・施行されました県の、小中学校の児童・生徒の静岡茶の愛飲の促進に関する条例に基づいて実施されます、静岡茶愛飲推進事業としてお茶の購入に対して10分の10の補助をいただけるものです。

○スポーツ振興課

17款1項1目、総務費寄附金です。事業名はスポーツ振興費寄附金で、補正額は100万円です。こちらは毎年度ヤマハレディスオープン葛城の開催に伴いますヤマハ株式会社様とヤマハ発動機株式会社様からの寄附金です。今年度は車の購入に充てさせていただくということで、当課で上程させていただく内容です。

○教育総務課

17款1項1目、教育費寄附金です。これは磐田中部小学校の教育振興のためといたしまして、100万円の寄附の申し出が個人からあったために予算を計上しているものです。寄附をされた方は当該校、中部小学校の保護者でありまして、匿名での寄附を希望しておられますので、ここでは公表を差し控えたいと思います。歳出となりますが、3段目の10款2項1目、小学校費の施設管理事業の事務局分で、こちらの寄附金を受けた内容に対して中部小学校に充てる費用となりますけれども、備品の購入に充てるということで学校からも内容の要望を聞いた中で予算計上をしておりますが、液晶テレビや教材関連図書の購入に充てたいという内容でしたので、予算に計上させていただいております。

<質疑・意見>

○静岡茶は給食の時に飲めますか。

○お茶をいつ飲むかは各学校で考えてもらいたいと思っています。牛乳は栄養価上外せない、カルシウムとかがあるものですから。小学校の中学年からを想定しているのですが、給食時に牛乳とお茶の両方を飲むというと大変な部分があります。大藤小学校は今お茶を提供していますので、この対象にはなっていません。ランチルームがある向笠小学校はやかんに入れて、給食に飲むことを想定しています。その他30校については自分で水筒を持参して、その中にお湯もしくは水を持って来て、スティック状の粉茶を入れて飲むことを想定しています。例えばお茶の日を各学校で設定して、給食中なのか朝なのか、それは学校に任せるのですが、学校にいる内に飲む。給食プラス休み時間という形で、年間20回以内の設定をお願いしていく予定です。

○パンの時は牛乳でもいいですけど、御飯なんか出た時にはやはり日本食を味わった後に牛乳を飲ませるのはどうも。日本人の感覚が身に付かないような何か危機を感じているのですけどね。日本茶をちゃんと飲めるような習慣を子ども達に身に付けさせたいなど。それにはやはり、日本食が出た時はお茶を提供してもらえたら一番いいなど。そういうことも大事じゃないかなと思うのですけどね。何でも、栄養があるから牛乳を飲ませればいいということじゃなくて。

○全国的な試みの中で、文部科学省も牛乳に関しては一定の枠組みで出していますので、外すのはなかなか難しい段階です。本当のお茶の味を知らない、ペットボトルのお茶の味しか分からない子

どもが沢山いるのですよね。だから本当のお茶の味というのは、なかなか水がおいしくなくてその味を味わえないとかね、そういう子も中にはいますので。

○一回スポーツドリンクとか入れると、その臭いになっちゃうのですよ。臭いが取れない。お茶とアクエリアスとか入れるのは別にしておかないと。それかハイターに一回浸けないと。お茶を入れた水筒はお茶の味が変わってきます。

○まずくなるので、やっぱり本当のお茶がおいしいのは給食の時間にきちんと入れて、学校でちゃんとお茶を。その日は牛乳をやめてお茶を出すとか、やはりその毎日絶対に牛乳を飲ませなきゃならないというのは、どうもちょっと抵抗があるのですけどね。たまにはそういう日があってもいいではないかと思えます。

○また、考えてみます。

それでは議案第 50 号について承認いたします。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 50 号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 福祉課

磐田市人権教育推進協議会委員の委嘱についてです。この協議会ですが、差別や偏見のない社会の実現を目指し総合的な人権教育の推進を図ることを目的に設置しています。委員の任期ですが2年となりまして、本年度が改選の年でしたので、名簿のとおり 12 人を委嘱任命しました。なおこの会議は年 1 回になりまして、今年度は 8 月 9 日に開催し、その際委員に委嘱状、任命状を交付しました。事後の報告となってしまいました。その点につきましては申し訳ございませんでした。

<質疑・意見>

なし

(2) 地域づくり応援課

実施の事業につきましては記載のとおりとなっております。今年度の第 1 回社会教育委員会を 8 月 31 日に開催する予定となっております。

<質疑・意見>

○ウミガメ放流（福田中）って何ですか。

○これは括弧書きで書きましたけれども、例年健全育成の事業として福田地区に若草会という健全育成の会がありまして、そこでずっと続けている事業ですけれども、ウミガメの卵の放流と海岸清掃と一緒に福田だけでやっているものがありまして。ただ、それが健全育成というより福田の 1 つの大きなイベントになっています。

○地域の活動ですね。健全育成会ということではなくて、それを若草がたまたまやっていたと。

○それを今年度から我々も地域づくり補助金で補助するようになりました。地域福祉活動という意味合いで今年度から提出してあります。

○健全育成とは離れていない。

○御興味のある方は、一度ご覧になってください。

(3) 幼稚園保育園課

<質疑・意見>

なし

(4) 教育総務課

ながふじ学府一体校建設検討会要綱につきまして、一体校推進室長から補足説明を致します。

◇学府一体校推進室長

7月の定例教育委員会でもお話しさせていただきましたけれども、ながふじ学府基本・実施設計業務受託者選定の結果は、最高得点者が「久米設計」、次点者が「安井設計」となりました。「久米設計」とは、8月15日に契約を締結しました。

今後ですけれども、本年度は基本設計などの作成につきまして、地域住民や保護者、教職員、専門家等の意見を反映させるため、ながふじ学府一体校建設検討会要綱を資料につけております。所掌事項としましては、基本設計に係る施設配置、機能、内容等に関するその他ながふじ学府の基本設計に関して必要な事項となります。

組織ですけれども、小中一貫教育や建築に関する学識経験者、保護者や地域、教職員の代表者の17人以内としています。学識経験者として昨年度の検討会委員であります千葉大学大学院工学研究院教授の柳澤要氏です。保護者代表は、3小中学校PTA会長、地域代表は、地区長、教職員代表は3小中学校の校長、幼稚園のPTA会長等は、昨年度の検討会と同様です。また今年度は基本設計ということで昨年度の検討会以上に実務的になってきますので、教育委員会が必要と認める者として、庁内から自治市民部長、教育部長を委員としています。

<質疑・意見>

なし

(5) 学校給食課

<質疑・意見>

なし

(6) 学校教育課

<質疑・意見>

なし

(7) 中央図書館

<質疑・意見>

なし

(8) 文化財課

<質疑・意見>

○教育総務のところでは伺うのを忘れましたけど、今後の実施予定で9月の末に県教委の事務局訪問がありますが、これはどういった内容になるのですか。例年行われているのですか。

○毎年、この時期に県の教育委員会事務局が市町を訪問しまして、学校教育、教育委員会全般の事業について意見交換ということで、毎年恒例の会議です。

○昨日、「市長と市政を語る会」がございまして、その時地域の方から質問があったのですが、ぜひとも、企画展の記念講演を聞きに行きたいと。もうあれだけ人気があるので、途中でそれ聞きつけわざわざ来たけど見られなかった、入れなかったということだったのです。だめですよ、事前に申し込まないと。

○そうです、先着順で。今回は人気があって、初日大分電話もかかってきて、途中から全部お断りしていた状況でございます。当日も何人かいらっしゃったのですが、全てお断りしました。満員ということで。

○途中から、間に合わなかったのです。本当に超満員で、後ろの1席が空いていました。

○1時間以上前から待っている人がいました。こっちにオープン展示場があったじゃないですか。あそこでみんな待ち合わせをしていました。

○物理的に制限するわけですから。聞けるようにする手段があれば聞いていただいた方がいいです。例えば企画展をしている所にモニターを入れるとか。そういう工夫が必要かもしれませんね。

○例えば市役所みたいに部屋が空いているということになればスピーカーだけ引っ張ってくることも可能でしょうけれど。図書館でそういう部屋があるかというとなかなか難しい。あそこで今回135人位。マックス150人位ですけども、150になると本当にもう身動きが取れなくなります。130、140弱で、それが一杯です。

○感想を言わせてもらいますと、お話もさることながら、展示物を目の前にして感動しましたけれど、それ以上に事務局が金堂を作って、その中に薬師如来座像、尺六とか丈六とか、それをやってくれた事務局の気迫を感じました。

○ただ物を展示するだけだと、なかなか初めて見たとか、ふらっと立ち寄った人が関心を持っていただけ無いという思いがあって、入った時エツとなって、とにかく関心を持ってもらう。そういうことで職員も色々考えまして、本当にこれは手作りですけども、磐田にこういうものがあったのだというのが入っていただいて、例えば瓦の変遷であるとか、それは全部、磐田で分かるのだと。色々なその地域の協力があって成り立っていることを知っていただくということで、また磐田に対する、磐田とか郷土に対する見方も変わってくるのかなという思いもあって、こんな形で職員も頑張っていました。これについては、かなり高い評価を頂いています。

○中央図書館に行って、あそこの四角の道、こう歩いていくと右側にぱっとこう見えるものだから、あれがまたいいですよ。人数的にもう少し膨らませて、会場が取れるようでしたらね。それと、さっき部長が言ってくれたように、そういう工夫ができるようだったら、何かそういう可能性も探しながら。だけどやはり、直接あの先生にみんなが聞いた方がね。答弁と違うので。

○あとは、できるかできないかは別として、例えば録画しておいた物をホームページにというようなやり方。リアルタイムじゃないけど、後日見られるのは可能性としてはあるのかなと思うのです

けど。

○また検討しておいてください。

7 協議事項

なし

<質疑・意見>

なし

8 その他

○ラグビーですけれども、もうトップリーグが始まりましてヤマハ発動機がトヨタに 14 対 11 で、勝ちました。9月9日がヤマハスタジアムでの初戦になりまして、2019年にラグビーワールドカップを控えておりますので、ぜひ皆様にもヤマハ発動機のホームの試合に盛り上げるよう足を運んでいただくとありがたいです。

○違うことで、いいですか。ちょっと気になっていたのですが、研修施設、宿泊施設みたいなものがなかなか無いですよ。オーストラリアのスポーツチームを受け入れるのにも、そういうことも影響をしているじゃないですかね。宿泊施設が無い。

○宿泊はグランドホテルさんがありますので、もしあれば恐らくグランドホテルさんでということになるのですが。ただ、キャンプの誘致にはなかなかお金がかかります。施設の改修等を求められます。今、新聞を見ると湖西市さんが色々やってみえて、磐田市は取り組みが少ないのではないかと思われていらっしゃるかもしれないですけども、施設の改修には予算を投入しなければなりませんし、条件の折り合いが付く、付かないというところがあります。今回オーストラリアの、卓球は残念でしたが、ものすごく迷っていらして、民間企業が後ろに付いていたり、そういった駆け引きがありまして、オーストラリアから今回は残念だけれども西脇市でというお手紙をいただいています。

○それはそれとして、宿泊施設が無いのがすごく磐田は欠点じゃないかなと思うのですよ。だから豊岡の旧東小ですかね、そういう所、例えば友好都市になったような所から子どもを連れて来るにしても、宿泊する場所が無いのは決定的にちょっと欠点かなと思っているのですけどね。何かそういうものがあって、ある程度安く子どもたちを泊めてやれる。観音山まで行かなくてもそういうようなものがあればいいかなと、すごく感じるのですけど。

○今年の夏、新しくできたホテルに合宿の人たちの何とかいうバスが止まっていました。

○ホテル形式を選択するパターンが多い。昔みたいに集合で、雑魚寝方式やっているところは少ない。

○県の施設なんかね、研修施設がありますよね。ああいうものを磐田へ建てる。

○それだけの合宿をやるベースになる必要があるか。使えるところまで持っていくのは、正直なところ難しいです。最近野球部とかサッカー部が出てきて泊まるのはホテル形式です。

○テニスのラケットを背負っている子達が入って来たりしている。やっぱりホテル形式の所の方が、あとアメニティがあるのが。うちの子なんかは県で色々行かせていただいたのですが、先に子どもたちは調べますからね。何があるか。ドライバーがあるかとか、歯磨きが、シャンプーがあるかとかそういうことも含めて。

○合併して磐田、豊岡も変わって来ているのですが、敷地地域は磐田市の中でも、人間社会で忘れかけている生活の原点があるような気がします。それは、自然も豊かだけれどそれだけでない。いわ

ゆる日本人が持っていた文化、人の繋がりを含めた「温もり」があります。子ども達が合宿やスポーツとかだけでなく、生活の中から学び取ったり、あるいは、畑・田んぼへ行ったり、山や川に行ったり、自然と触れ合う空間として自然体験学習みたいな、「社会科学・自然科学の学びの場」として考えられないでしょうか。利用が磐田市だけでなく、近隣からも子ども達が来て、こういう施設を使うことが出来れば、利用頻度は上がり、西部地域のみならず県内施設として有意義なものとなると思います。

○駒ヶ根から中学生を呼ぶにしても、宿泊場所がすごく困ったのですよね。だからホームステイを募ったのですけどね。そしたら、ホームステイをしてくれるお宅がなかなか無いのですよね。むしろ外国人なら受け入れる、という向きがあって、海外へ滞在された人達なんかは海外の人ならいいけど国内の人はだめ、ということだったのですけどね。そういう子たちを連れてきてあげたいなあ、泊ませたいなあと思うと、やっぱりホテルは高い。

○今だったら民泊のそういう地域みたいなものは無いですか。家の娘とかは、京都で農業体験をしたり、沖縄で中学校の時民泊をしたのですけど、やっぱり民泊ってお宅に2泊とか3泊とか色々やらせていただいたり、お手伝いさせていただいたり、とてもいい経験でした。今回、もう1人横須賀の戦争教育も含めているのでそれらを見学して、その後農業体験としてやったのですけど、そういう自然と共存するとか、何か磐田の中でアピールとかいうか、もちろん組織作りも大変だと思いますけども、子ども達にとって民泊ってとても密になる。3人4人ずつを引き受けてくれるのですけども、とても密に関係ができるので、そこで教わったお料理を家で作ってみるとか、そういうことも子どもにとってはとても。

○子ども達の民泊を含めて泊まる施設、そういうものも可能性として検討できないかということでございますね。その他、よろしいでしょうか。

<質疑・意見>

なし

9 次回教育委員会の日程確認

・定例教育委員会

日時：平成29年9月28日（木） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

10 閉会